

令和4年度第2回イベントを開催しました！

日時：令和4年12月3日(土)AM9:30~12:00
 場所：大池公園会議室と園内一帯
 参加者：31名(住民19、造園会社5、樹木医1、東海市役所2、事務局4)

今年度2回目のイベントは、新たな市民や造園会社も加わり、樹木医さんによるさくらの特徴や健康に関する説明の後、園内で参加者がさくらの元気度調査(診断)を指導を受けつつ実際にやってみました。更に次回イベントで予定されている施肥の試行もあり盛沢山でした。樹木医さんの丁寧な説明により、参加者が日頃抱えている樹木に関する質問や疑問を解決できる、非常に有益で貴重な機会となったのではないかと思います。

今回“さくら再生ボランティア”活動日アンケートも実施させていただきました。大池公園のさくら再生は、ボランティアの皆さんに中心となっていただき、行政や造園会社がそれを補って進めていきたいと考えています。皆様の尊いご協力を得て役割分担しながら、本イベントを軌道に乗せたいと考えていますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。



会議室での様子

令和4年度イベントスケジュール(内容は予定)

第1回イベント【2022年11月12日(土)】 済

『日当りを良くしよう』
 専門家の指導のもと、さくらの周りの支障木や枝を伐採し、さくらの生育を促進させます。

第2回イベント【2022年12月3日(土)】 済

『さくらの健康を考えよう(その1)』
 樹木医の先生からさくらの基礎知識や樹勢回復方法などを聞き、そのあと、さくらの元気度調べを行います。

第3回イベント【2023年2月18日(土)】

『さくらの健康を考えよう(その2)』
 前回と同様に、樹木医の先生の指導のもと、さくらの根元の土を柔らかくして肥料をあげます。

第4回イベント【2023年3月4日(土)】

『肥料をあげた木に名ふだをつけよう』
 さくらに名ふだを付けPRし、さくらに興味を持ってもらいます。

このイベントの概要

- 大池公園(東海市中心部三丁目、面積約24.8ha)は1973年(昭和48年)に緩衝緑地として開園。さくらの名所として毎年春にはソメイヨシノ他のさくらが咲き誇り、最近ではライトアップも行われ花見の名所となっていますが、開園後約50年が経過しソメイヨシノ等の老木化が目立ってきました。
- 『大池公園さくら再生イベント』は、大池公園のさくらをこの先も楽しめるよう、市民の皆さんと東海市で協働して守り次世代に引き継いでいくと共に再生させ、名所としての魅力を更に付加することを目指して令和元年度に始まり継続しています。
- 『大池公園さくら再生イベント』は令和2年度に3回、同3年度に4回実施し、引き続き令和4年度も4回開催の予定です。みんなで“さくら”にふれあいながら簡単な維持管理作業を行い、さくらの勉強もできますのでぜひご参加ください。

さくらの知識

- ・日本の野生のさくらの種類は10種類(ヤマザクラ、オオシマザクラ、カスミザクラ、エドヒガン、マメザクラ、チョウジザクラ、ミヤマザクラ、タカネザクラ、オオヤマザクラ、クマノザクラ。中国や台湾から沖縄に渡ってきたカンヒザクラを含めると11種)。園芸品種は350種以上、それぞれ花の形や色、香りに特徴があり同定可能だが、落葉期に種類を決めるのは極めて困難。
- ・大池公園のさくら700本程の内ソメイヨシノが9割以上。ソメイヨシノはエドヒガンザクラ(母)とオオシマザクラ(父)のかけ合わせでそれぞれの長所を持ち江戸時代に誕生した。その後長年に渡り“さくら”と言えばソメイヨシノという位大量に植栽された。エドヒガンザクラの寿命は何百年から千年以上にもなるが、対してオオシマザクラは短命で寿命は長くて二百年程度。ソメイヨシノはその短命を引き継いだ。特に昭和38年頃から全国一斉に植えられ、老木化問題も全国至る所で発生している。

樹木としてのさくらの特徴

- ① 日当りを好む。② 腐りやすい。③ 病気になりやすく、虫も付きやすい(特に生きている木の組織を食べ、腐らせ、倒木させるキノコのベッコウダケとコフキダケに注意が必要)。
- ④ 土壌の影響を敏感に受ける。



さくらの樹勢回復に必要な作業

さくらは一旦元気がなくなると回復させるのが難しい。ポイントを絞って対策することが必要。

- ① 日当りを阻害している周りの樹木や枝などを伐採する。
- ② さくらの不要な枝を剪定する(通常の枯枝、からみ枝、逆さ枝、ふところ枝、徒長枝の剪定)。

その他近年、あまりされなかったさくらの剪定が行われるようになってきた訳は？

青森県の弘前公園には樹齢百年以上のソメイヨシノが70~80本ある。このソメイヨシノを維持管理する人にリンゴ農園の人がいて、リンゴの剪定方法でソメイヨシノを剪定してみたところ、翌年優れた若い枝が出て花つきも良くなった。この剪定方法を樹木医等で研究し、若枝(樹体)更新という技術方法が確立し、全国にも広がってきている。

さくらはまず長枝が伸び次にその脇から短枝が伸びる、花は2年目の短枝につく。一旦短枝が出ても年間1~2cm位しか伸びない。従って弱った枝を切り、新しい若い枝をなるべく増やす。枝を切られると葉や枝が減り刺激となる。そういう訳でさくらが剪定されるようになってきた。

- ③ 土壌改良を行い、肥料をあげる。

さくらの元気度調べ(樹木診断)

冬に施肥しても枝葉が元気になり効果が出てくるのは春から夏で、花が咲くのは翌年春で効果が出るまでに時間が必要。

1本1本しっかり確認するのが大切。診断により、その木の弱ったか所の対応を決めることができる。良い木を数多く見ること。大池公園のソメイヨシノは現在危機的な状況で、二十年後はボロボロになるかもしれないほど悪い。弘前公園の様に土壌改良・剪定等のきめ細かい管理とまではいなくても、放置すると現在のようなさくらの名所ではなくなる可能性がある。

大池公園の8種のさくら

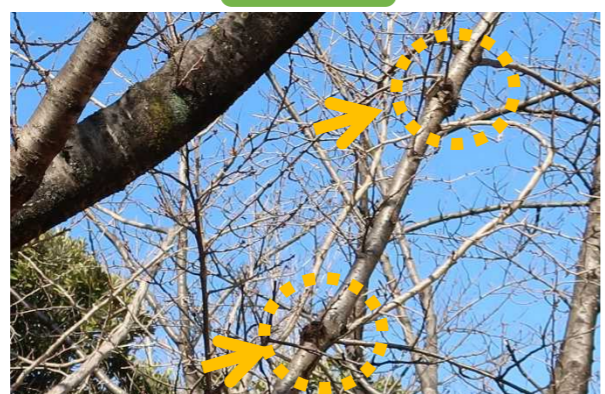
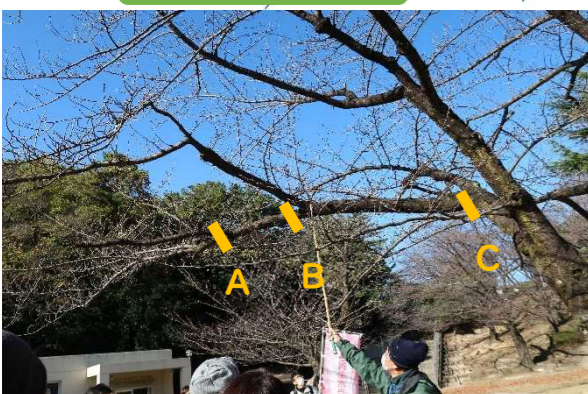


今回のイベントの様子

樹木医さんの説明を聞く

今回のさくらの元気度調査に使用したシート

第2回イベント参加者アンケート結果(回答数19)



太枝の途中(例えば A)で切除すると、新たに芽生えた小枝では切り口を修復させる養分が足りないため、腐朽していく可能性が高い。切除する枝径の1/3程度の枝があるところ(分岐部 B)まで戻って切るか、無ければ幹元(C)で切る。

若木の頃に菌が内部に入り発症。形成層を圧迫し養分水分を枝先に送れず衰弱する。罹患後に内部の消毒はできず現在対応策なし。大池公園はこぶ病のサクラが殆んど。天狗巣病は少ない(東海地方は少ない傾向)。



←枝が腐食しており、放置すると強風の影響で折れ公園利用者他に被害を与える事故発生の恐れあり。枝の直径に対する腐植部の厚さが3割を超すと折れ易くなり早期対応の必要あり。

切口癒合促進剤
塗布してからの効果は3か→月程度しか続かない。

しらべてみよう「さくら」の元気度調査シート No.

調べた日	調べた人	さくらの場所(番号)
		大池公園

見るところ	様子		
全体の勢い	見て気づいたこと:		
該当番号	① 元気	② 少し弱っている	③ かなり弱っている
1 幹の傾き	① ほぼまっすぐ	② 少し(10度程度)	③ 15度以上
2 根元の腐り・空洞	① なし	② 大きくふくらみ空洞もある	③ 大きな空洞がある
3 幹の腐り・虫の害(フン・虫穴・ヤニ木くす)	① 傷や腐りはない	② 傷があり表面に異常がある	③ ひび割れ皮がはがれている
4 キノコの発生	① なし	② 枝にキノコがある	③ 幹や根元にある

これ以外にも調べることはたくさんありますが、1から4が特に重要です。4つの内1つでも③があれば、そのままと枯れてしまう可能性がありますので、対策するために、専門の人によって、さらに詳しく調べる必要があります。 ※裏もあります。

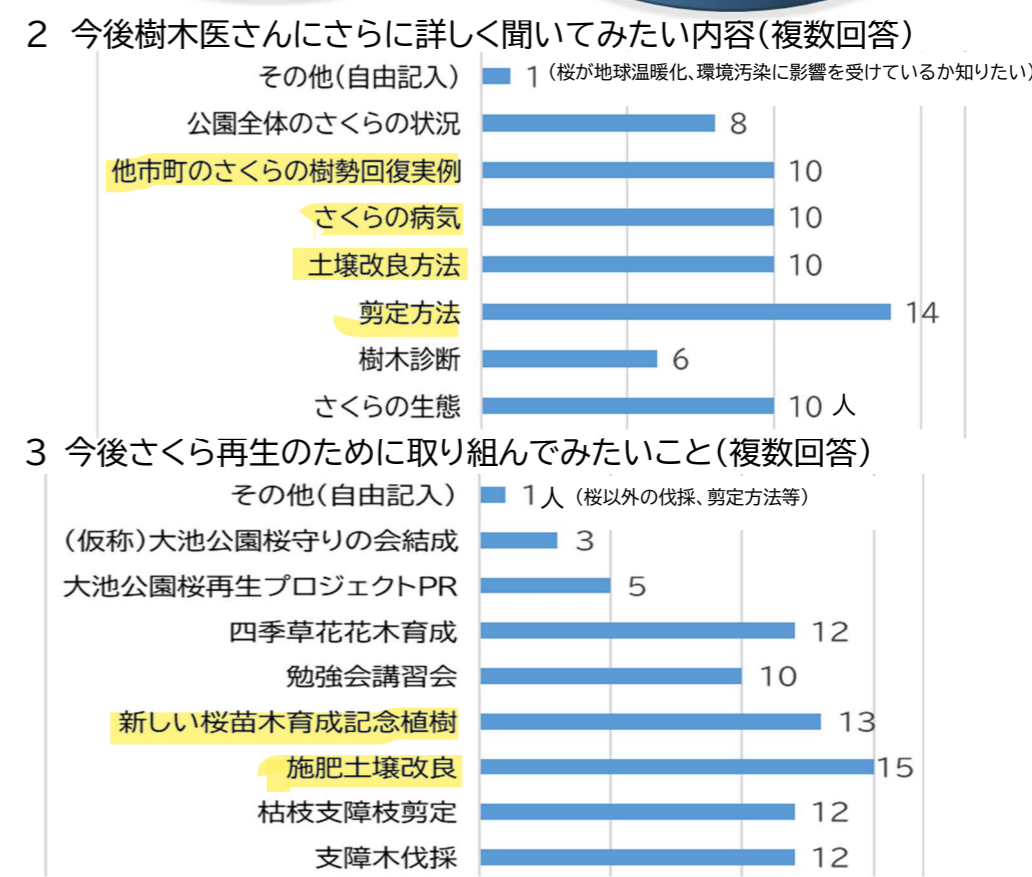
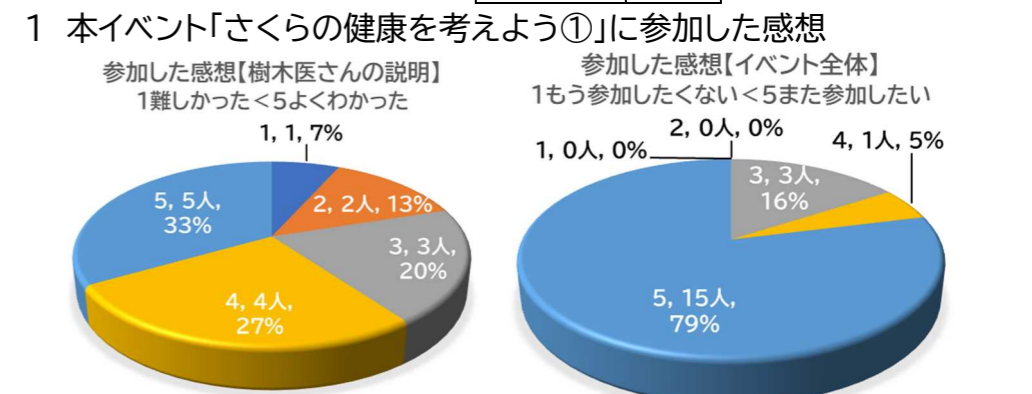
さら余裕があれば、以下も調べてみてください。

見るところ	様子		
5 枯枝	① なし	② 下の方にある	③ 上の方にもある
6 打音	幹を木づちでたたいて音を聞く		
該当番号	① 充実した重い音	② 狭い範囲で軽く乾いた音	③ あちこちで乾いた音
7 日当たり	一日中よく当たる	日陰になる時もあるが一日中ではない	木が被さったり物陰になり、常に日陰
該当番号	① 良い	② 普通	③ 悪い
8 隣の木との離れ	離れている	枝葉が周りの木とやや融合う程度	枝や葉が周りの木と重なり合っている
該当番号	① 良い	② 普通	③ 悪い

0 参加者の構成

住所	市内	15人	年代	10代未満	3人	性別	男性	12人
	市外*	2人		30・40代	4人		女性	7人
	不明	2人		50・60代	6人			
				70代以上	3人			
				未確認	3人			

*半田市1人知多市1人



4 その他自由意見

- 積極的に参加させていただきます。本日はためになりました。
- 木のクイズがいっぱいあるといいとおもいます
- 子供にもわかりやすくして欲しかった。木のクイズがたくさんあると勉強になると思います。
- 主に週末が仕事のため残り2回以外のボランティアは平日主体で参加させていただきます。
- 子供には少しむずかしい所はありましたが楽しく話を聞くことができてよかったです。
- 樹木医さんの話とても参考になりました
- なぜか?と考えることがないと忘れてしまうと思います
- 2/18参加予定